

(報道資料)

地域の資源循環と経済循環を生み出すプロジェクトにパスコが参画 木質バイオマス資源を活用した再生エネルギー事業

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：島村秀樹、以下：パスコ）は、地域のバイオマス資源を活用し森林保全や地域活性化を推進する「夢プロジェクトさくま」事業に参画いたします。本プロジェクトは、2020年9月1日に参加団体15者による基本協定が締結され、17日には事業の実現に向けたキックオフセレモニーが開催されました。

パスコは、空間情報事業者として、環境調査や林業・農業分野で培ってきたノウハウや知見を活かし、本プロジェクトの推進に向けたマネジメントなどの包括的な支援を行ってまいります。



9月17日に開催されたキックオフセレモニーの様子

(左から) 株式会社植松鈴木組 代表取締役 鈴木良典、佐久間森林組合 代表理事組合長 大石幸弘、
パスコ 代表取締役社長 島村秀樹 (画面左)、株式会社三井住友トラスト基礎研究所 部長 福島隆則 (画面右)、
浜松市長 鈴木康友、特定非営利活動法人がんばらまいか佐久間 理事長 大見芳、サーラエナジー株式会社 浜松支社長 諏訪博

■「夢プロジェクトさくま」の概要と経緯

(概要) 静岡県浜松市天竜区佐久間地域において、特定非営利活動法人がんばらまいか佐久間（理事長：大見芳）が中心となり、木質バイオマス資源の利活用によって発電事業や新たな農作物の栽培などを行うことで、森林保全や地域活性化を推進する事業です。

(経緯) 2016年から2018年度に、「浜松市スマートシティ推進協議会」の下部組織であるスマートプロジェクト研究会において、中山間地域における既存都市でのスマート化の可能性についての検討が行われました。2019年度からは、協議体での活動が開始され、その後、2020年2月に、特定非営利活動法人がんばらまいか佐久間と浜松市による連携協定が締結されました。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ
(報道機関) 広報部

<https://www.pasco.co.jp/>
TEL : 03-6412-2800

(参考資料)

■プロジェクトのイメージ

佐久間中学校跡地を拠点に、バイオマス資源を活用した地産地消型の発電事業を実施。発電で得たエネルギーで、新規事業の創出、地域交流の促進、レジリエンスの強化などを目指す。



■参加団体

団体名	
株式会社植松鈴木組	テクノ矢崎株式会社
遠州中央農業協同組合	電源開発株式会社 再生可能エネルギー本部 水力発電部 中部支店 佐久間電力所
特定非営利活動法人がんばらまいか佐久間	株式会社パスコ
社会福祉法人さくま	株式会社フジクラ 新規事業推進センター
佐久間森林組合	株式会社三井住友トラスト基礎研究所 PPP・インフラ投資調査部
サーラエナジー株式会社 浜松支社	矢崎エナジーシステム株式会社
静岡県森林組合連合会	浜松市
静岡製機株式会社	

※あいうえお順